

bauma 2022 ファイナルレポート

第 33 回 国際建設機械・建設資材製造機械・鉱業機械・建設車輛・建設機器専門見本市
2022 年 10 月 24 日～30 日
ドイツ / メッセ・ミュヘン

2022 年 10 月 30 日

bauma 2022 は建設機械業界の革新力を顕示し、期待を超える

Summary

- 60 力国から 3,200 の出展者
- およそ 200 力国から 495,000 人以上が来場
- 来場者の質は業界の期待を著しく上回り、会期中に多くの商談が成立



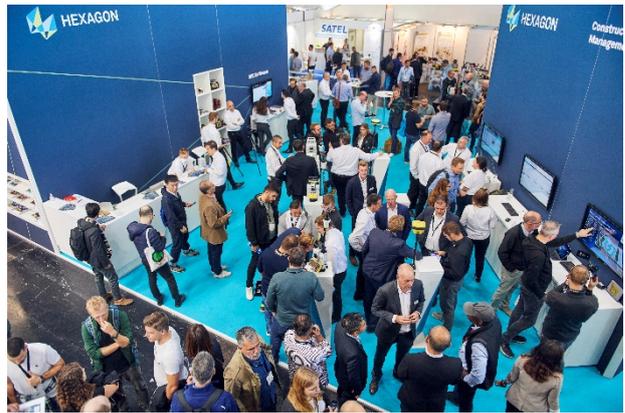
Facts & Data

会 期	10 月 24 日(月)～28 日(金) 9 時 30 分～18 時 30 分 10 月 29 日(土)8 時 30 分～18 時 30 分 10 月 30 日(日) 9 時 30 分～16 時 30 分
会 場	メッセ・ミュンヘン
主 催	メッセ・ミュンヘン (Messe München GmbH)
後 援	VDMA - ドイツ機械工業連盟 CECE - 欧州建設機械工業連合会
規 模	614,000 m ² (2019 年:614,000 m ²)
出 展 社 数	60 ヶ国から 3,200 社 (2019 年:63 ヶ国から 3,684 社)
来 場 者 数	200 ヶ国から約 495,000 人 (2019 年:200 ヶ国から 627,603 人)
主 な 出 展 品	建設機械・車輛・機器・工具、リフト、コンベヤー、コンクリート・モルタル処理・製造、型枠、足場、原料抽出・処理・鉱業機械、選鉱、建材用セメント・石灰・石膏製造、コンクリート・コンクリート製品・プレハブ構成材・石膏・石膏ボード製造機械・システム、アスファルト・予混合ドライモルタル・漆喰・スクリード・石灰砂岩・発電所残渣使用建材製造機械・プラント、駆動・流体技術、発電ユニット、付属品、予備・部品、サービス、検査、測定、プロセス制御技術 など
専 用 U R L	www.bauma.de (英語 / ドイツ語)

メッセ・ミュンヘンの見本市会場が、丸7日間建設機械業界の中心と化す。それは bauma が再び開催されるときだ。2022年10月24日から30日にかけてドイツ・ミュンヘンで、建設機械、鉱山機械、建設車両、建設用機器の世界有数の見本市、bauma 2022 が開催された。

bauma 2022 には 60 カ国から 3,200 ほどの出展者 (2019 年は 63 カ国から 3,684 社)、そして、およそ 200 カ国から 495,000 人以上 (2019 年は 200 カ国から 627,603 人) の来場者が集結した。

その大きな特徴はといえば、全来場者の 50% はドイツ国外からの来訪であり、出展者全体の 65% をドイツ国外の企業が占めた。出展者数の多い国は、順に、ドイツ、イタリア、トルコ、イギリス、オランダ、フランス、アメリカ、オーストリア、スペインである。



主催者メッセ・ミュンヘンの CEO シュテファン・ルンメルは、「今年の bauma も熱意と魅力にあふれていた。前回の bauma の後に世界は根本的に変化したが、bauma 2022 では、幅広い革新技術を持った出展者、素晴らしい商談、そして世界各国からの多くの来場者のおかげで、現在もこのように建設機械業界にとっての最強のビジネスプラットフォームであり続けられることに本当に感謝している」と述べた。

業界の期待を大きく上回る

昨今の不安定な状況下にあっても bauma がこれまでどおりの強さを示すことができたことを受けて、Wirtgen Group 社の Domenic Ruccolo 氏は次のように話した。「当社と John Deere 社にとって、両社による共同出展は大成功であった。両社が今回紹介した革新的かつ持続可能な製品への関心の高さは圧倒的なものだ。今回の bauma への出展は Wirtgen Group 史上最も成功したものとなった」。また、Liebherr 社の Steffen Günther 氏は、「今回も bauma への出展は実に良い判断だった。多くの来場者とともに熱気を生み出すことができ、商談も多数成立した。次回の bauma を今から楽しみにしている」と、満足の意を表した。

Zeppelin (CAT) 社の Fred Cordes 氏は、「業界は bauma の開催を待ち望んでいた。当社ブースに続々と押し寄せる人の波が、そして来場者の関心の高さがその待望を証明している」と付け加えた。

bauma が業界のビジネスのプラットフォームであることは、来場者の多さだけでなく、質の高さや会期中の商談数をみても明白であり、今回改めて証明された。



れた」と述べた。

Wacker Neuson Group 社の Alexander Greschner 氏は、「会期中、多くの人々が当社ブースを訪れ、多数の商談を成立することができた。初日から、2019 年と同レベルか、もしくはそれ以上の売り上げを達成することができた」と語った。

PERI 社オーナーの Alexander Schwörer 氏も来場者の質の高さに言及して、「この困難な時代にあって、この見本市をどのように進展させていくことができるかに、業界全体が注目していた。bauma は見事に皆の期待に応えてくれ、この 7 日間の会期中に非常に価値のある契約を多数締結することができた。bauma 2022 は本当に期待をはるかに上回る結果を残してく

メッセ・ミュンヘンの共同 CEO であるラインハルト・ファイヤーは、「現在のこの厳しい状況下において、bauma は見本市業界全体に大きな希望をもたらした。各産業界は全て、製品や技術に直接触れることができ対面で会話もできるというビジネスプラットフォームを常に必要としていることを、当 bauma は証明した」と話した。

未来のテーマにフォーカス

今回の bauma は、単にビジネスプラットフォームとしての強みを示しただけでなく、イベントにおけるトピックを設定する上でも強いリーダーシップを発揮した。

bauma アドバイザリー・ボード会長で Paus Maschinenfabrik GmbH 社の Franz-Josef Paus 氏は、「今回の bauma の結果には、全体にわたって大変満足している。デジタル化と自動化、この 2 つが bauma 全体の基本テーマであり、この方向性は今後も継続されると考えている」と述べた。ドイツ機械工業連盟 (VDMA) の Joachim Schmid 氏も同様の考えの基、「出展企業の多くは、カーボンニュートラルに対する現時点の課題への取り組みだけでなく、自動化とデジタル化によって熟練作業員不足という課題に対処するソリューションを提案している。その現実こそが未来の姿だ」と締めくくった。



次回の bauma は、2025 年 4 月 7 日から 13 日にかけて、ドイツ・ミュンヘンで開催される。

詳細情報ならびに写真は、専用ホームページ www.bauma.de で

bauma 2022 出展者の声は[こちら](#)から

bauma 2022 主な日系出展社 (50音順)

ウエダ産業(株)、(株)エムズ、オカダアイヨン(株)、(株)オンガエンジニアリング、(株)カワサキプレジジョンマシナリ、(株)技研製作所、(株)クボタ、コベルコ建機(株)、(株)小松製作所(コマツ)、(株)島津製作所、住友建機(株)、住友重機械建機クレン(株)、(株)竹内製作所、(株)タダノ、(株)トプコン、トヨタ工機(株)、(株)中山鉄工所、日本ニューマチック工業(株)、本田技研工業(株)、日立建機(株)、平戸金属工業(株)、(株)鶴見製作所、古河ユニック(株)、北越工業(株)、(株)前田製作所、マックス(株)、三笠産業(株)、三菱マテリアル(株)、(株)諸岡、ヤマモトロックマシン(株)、ヤンマー(株) ほか

次回予告

- 建設機械関連見本市 -

bauma CONEXPO INDIA 2023 2023 年 1 月 31 日～2 月 3 日 於: インド / Greater Noida
www.bcindia.com (英語)

bauma China 2024 2024 年 11 月 26 日～29 日 於: 中国 / 上海
www.bauma-china.com (英語 / 中国語)

M&T EXPO 2024 2024 年開催予定 於: ブラジル
www.mtexpo.com.br (英語)

資料請求、出展申込み、各種お問い合わせ先:

メッセ・ミュンヘン 日本代表部

株式会社メッセ・ミュンヘン・ジャパン

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 3-20-3 ノアーズアーク虎ノ門 5 階

Tel.: 03-6402-4583 Fax: 03-6402-4584 E-mail: info@messe-muenchen.jp

URL: www.messe-muenchen.jp (日本語) www.messe-muenchen.de (英語 / ドイツ語)